

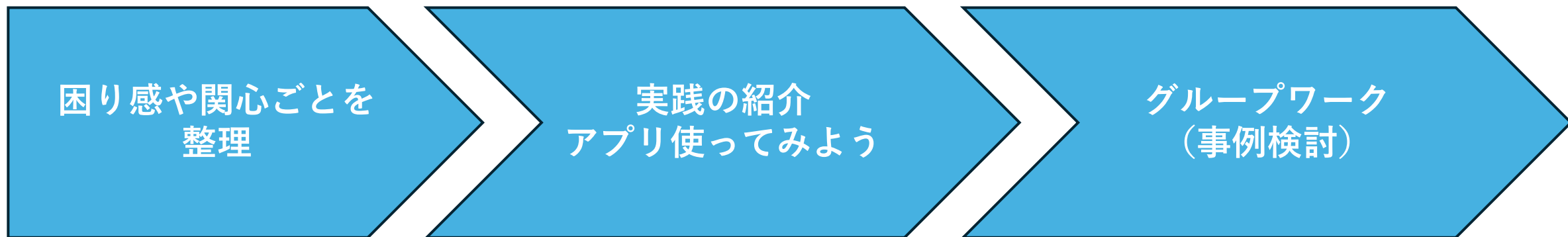
コミュニケーション支援グループ

研修のねらい



- ☆コミュニケーション支援に関する困りごとや関心ごとを整理し、ニーズにそったする。
- ☆研修で取り上げたICTを実際に使ってみる機会を設定し、個々のICT活用指導力の向上につなげる。
- ☆グループワークを通して、学部をこえた職員の交流機会を増やす。

研修の内容



6/19

7/8 拒否や要求の適切な
伝え方

9/11 自分の気持ちや考えを
伝える方法

9/30 話す以外で伝える支援

11/14 実態・現在の支援の
様子を共有

12/12 支援の検討

1/13 支援の改善検討

1/30 実践報告

計8回

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)



先生方のニーズに合った研修を行うために、コミュニケーション支援の困りごとや関心ごとを整理・共有する。

方法

5～6人の小グループでのKJ法
(付箋紙を使った情報整理)



困り感や関心ごとを整理

実践の紹介 アプリ使ってみよう

グループワーク (事例検討)

- ・発語がなく、拒否や要求を適切に表現できず、自傷や他害で表現してしまう。
- ・発語がない子の思いをどのようにくみとったらいいのか・・・
- ・伝えたい気持ちはあるもののうまく表現できず、相手に伝わらない。
- ・相手がどう感じるか分からず、空気が読めない発言をしてしまう。
- ・かまってほしい時の不適切な発言にどう対応するか。
- ・場面緘黙？ 話せるけど話さない生徒とどのようにコミュニケーションをとる？

などなど・・・



困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

発語がなく、自分の思いをうまく伝えられない。
自傷や他害など、不適切な表現をしてしまう子にどんな支援を？



→拒否や要求などの適切な伝え方の支援

自分の気持ちや考えを表現することが苦手。考えをまとめるのも苦手で相手に伝わりにくい子にどんな支援を？



→自分の気持ちや考えを伝える方法の支援

話す力はあるけれど、話そうとしない子にどんな支援を？



→話す以外の方法で伝える支援、伝えたくなる場面設定

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

発語がなく、自分の思いをうまく伝えられない
自傷や他害など、不適切な表現を繰り返す

→拒否や要求などの適

ICTをうまく
活用できないかな・・・

自分
手
を表現
にくい子

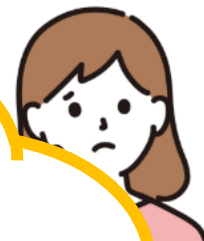
→

や
と

話す

話そうとしない子にどんな支援を？

で伝える支援、伝えたくなる場面設定



①拒否や要求などの適切な伝え方の支援(7/8)

コミュニケーション支援のステップ

ステップ② 代替コミュニケーション手段の指導

行動の機能に合わせて、「代わりとなる適切な伝え方(代替行動)」を教える。

要求 「〇〇がほしい。」
「手伝ってほしい。」 → 指さし、「ちょうだい」ジェスチャー、
絵カード交換、スイッチ など

拒否 「〇〇はいらない」
「〇〇はしたくない。」 → 「休憩したい」「いません」のカード、
ジェスチャー、スイッチ など



<研修スライド一部>

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

①拒否や要求などの適切な伝え方の支援(7/8)

【紹介したアプリ】



Drop
Tap



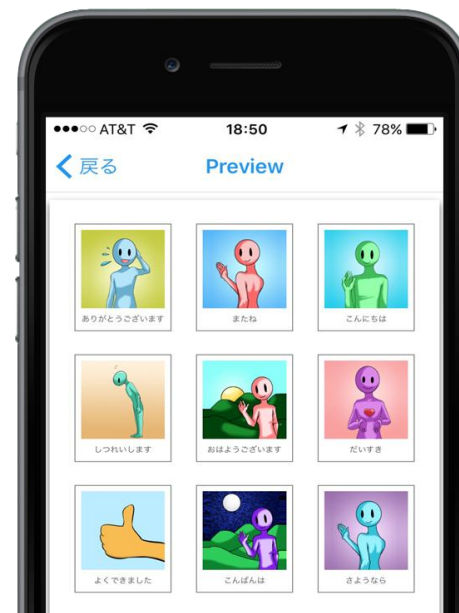
えこみゆ



Voice4
you



PECS
Talk



困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

①拒否や要求などの適切な伝え方の支援(7/8)

DropTapを使ってみよう!



②自分の気持ちや考えを伝える方法の支援(9/11)

コミュニケーション支援のステップ

ステップ② 表出を助ける環境調整

○選択肢の提示

「うれしい? 悲しい?」など2択から選択 徐々に自由表現へ

○視覚的支援

感情カード



気持ちメーター



など

コミュニケーション支援のステップ

ステップ② 伝えやすくなる環境調整

○視覚的な支援

・絵や写真、キーワードメモなどを活用



読み上げ機能もあったり、学習面でもいろいろ使えそう。

事例: 出来事や自分の気持ちを整理し、相手に伝えるための指導

出来事を想起して具体的に伝えることが難しい高1生徒への「えにつきアプリ」を活用した取組

「ICT活用授業&探求ライブラリポータルサイト」より

<研修スライド一部/他校の実践紹介>

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

②自分の気持ちや考えを伝える方法の支援(9/11)

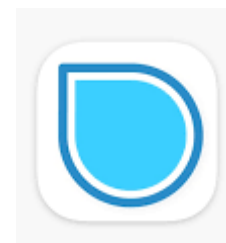
【紹介したアプリ】



ココチ日記



えにっき



SimpleMind



気分がメモ出来る
日記アプリ



カレンダーで気分が
ひと目でわかります



グラフで気分の推移も
確認できます



考えを整理



学習して記憶



アイデアを構築

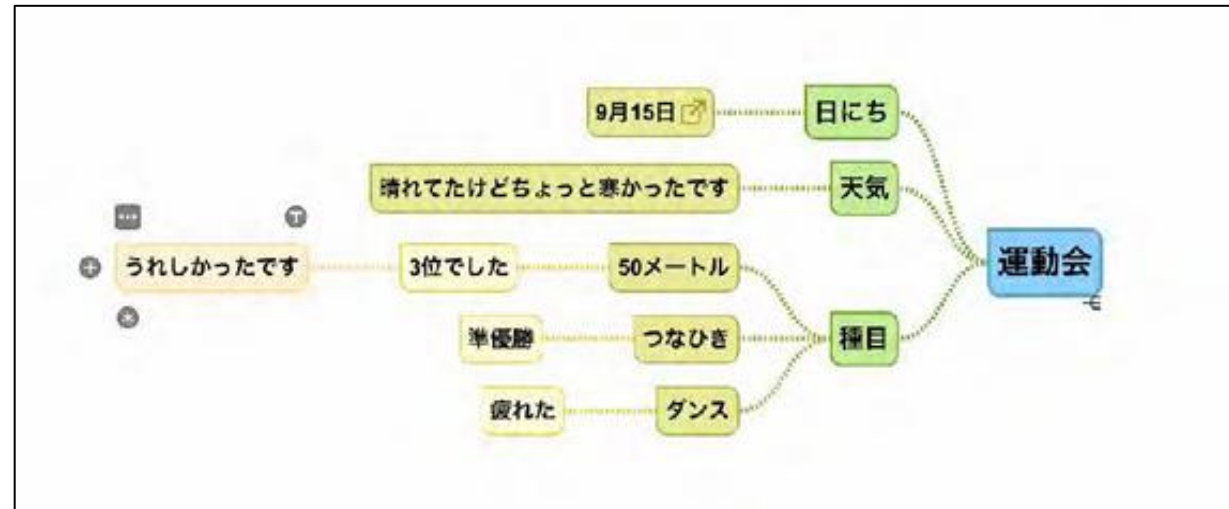
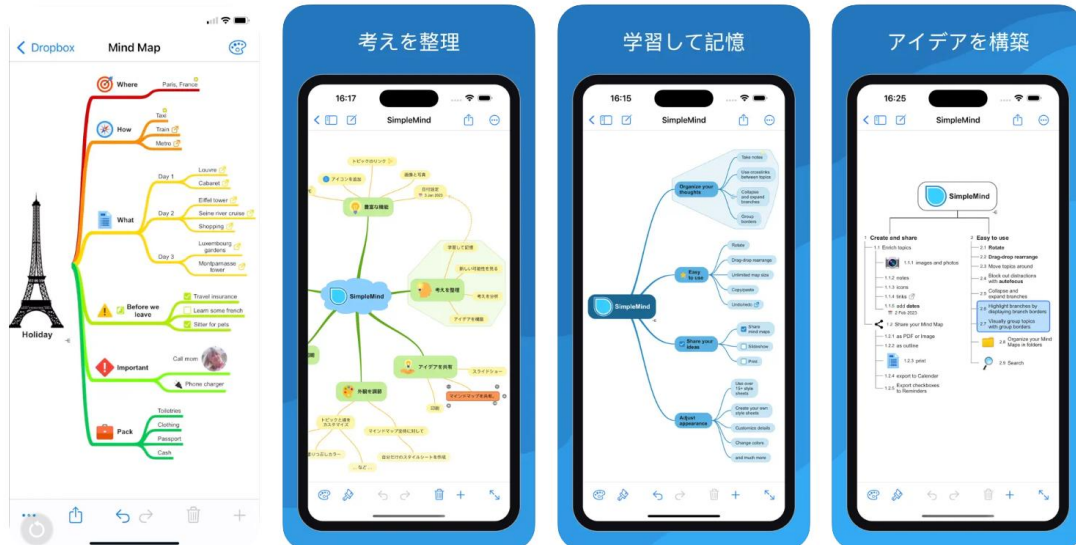
困り感や関心事を整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

②自分の気持ちや考えを伝える方法の支援(9/11)

SimpleMindを使ってみよう!



思考を見える化

③話す以外の方法で伝える支援、伝えたくなる場面設定(9/30)

コミュニケーション支援のステップ

ステップ② 子どもの思いや意見を引き出す工夫

○ICTの活用

- ・タブレットでスタンプや絵文字を選ぶ
- ・アプリを使って意思表示
- ・発表時はタブレットで入力してスクリーンに映す など

周囲の子も一緒に活用すると、「特別扱い」でなく、クラスのやり方として取り組みやすい。



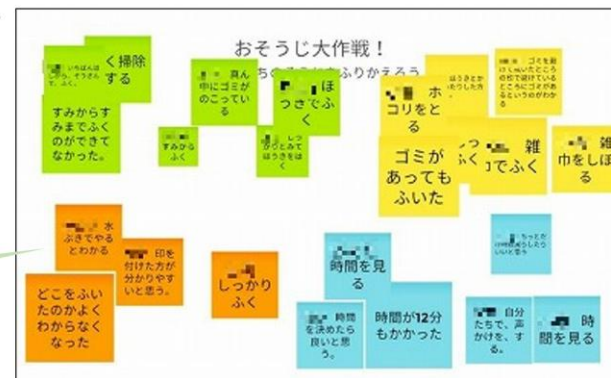
ホワイトボードアプリ
(残念ながらサービス終了🙁)



同じボードを共同編集することができる

【小学校特別支援学級の実践】
付箋機能を使って「学級清掃をよくする手順」
を考える活動

兵庫県版プログラミング教育スタートパックサイトより



困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

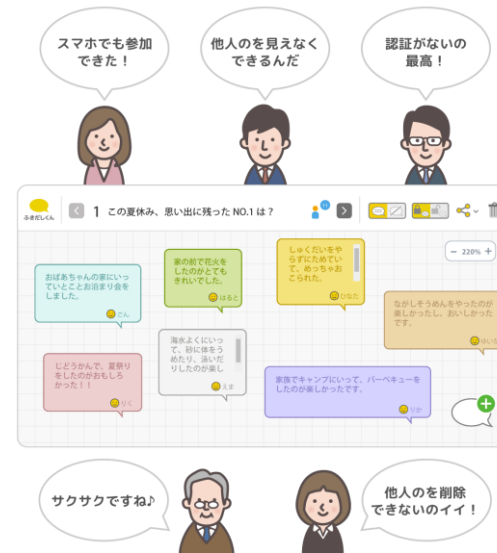
グループワーク
(事例検討)

③話す以外の方法で伝える支援、伝えたくなる場面設定(9/30)

【紹介したアプリ】



指電話
文字盤



困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

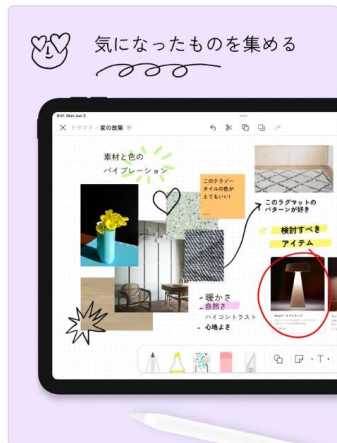
グループワーク
(事例検討)

③話す以外の方法で伝える支援、伝えたくなる場面設定 (9/30)

FigJamを使ってみよう



FigJam: ホワイトボードと描画 (4+)
スケッチ、ブレインストーム、ワイヤフレーム
Figma Inc.
★★★★★ 4.4 • 465件の評価
無料



お楽しみ会でしたいのは？

カラオケ大会

調理実習がしたいです

クリスマス🎄の歌に限定するのは？

好きな曲歌いたいな〜

鬼ごっこ大会? どこです? うんどくしよう? 体育館!?

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

Aさんへの
コミュニケーション支援に
ICTを活用できないかな？



困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

友達と仲良くしよう—苦手な友達と仲良くする試み—

外国語を主に使用する児童に対する、したいことや行きたい場所を伝えるための指導

自分の気持ちや思いを伝えることにつながる支援ツールの活用

自分から伝える表現を身につけるための支援ツールの活用

気持ちの浮き沈みが激しい生徒を支援するための記録としての活用

自分の思いを詳しく伝えることを目指す支援ツール活用

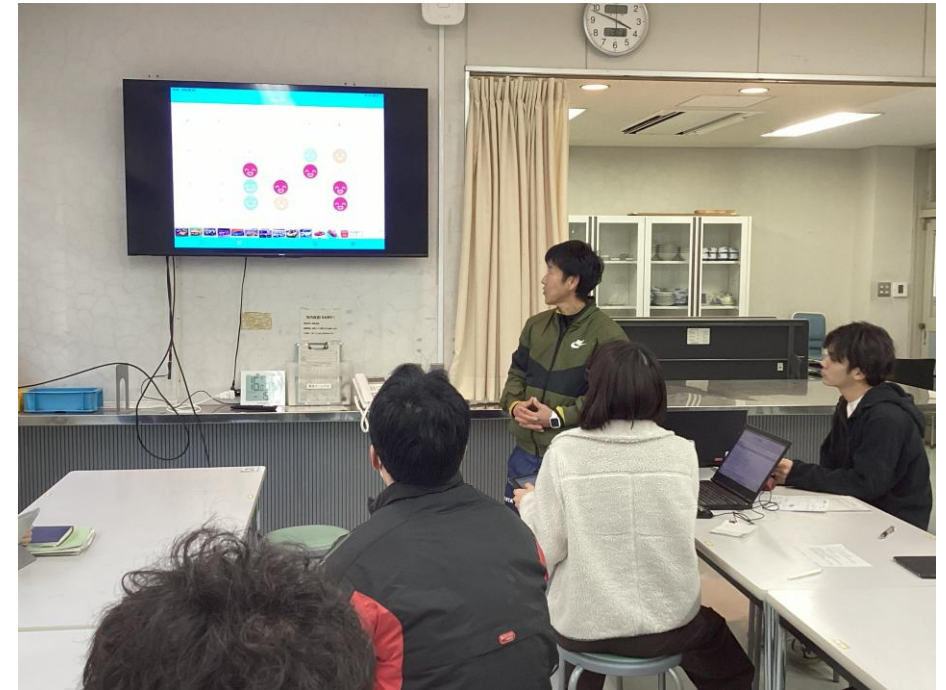
自分の意志を伝えることを支援するICTツールの活用

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

グループワーク
(事例検討)

- ① 11/14 実態・現在の支援の様子を共有
- ② 12/12 支援の検討
- ③ 1/13 支援の改善検討
- ④ 1/30 実践報告





成果

実践事例の中で見られた児童生徒の変化



毎日の係活動の際に、保健室の写真+「いってきます」のシンボルで行き先の報告ができるようになった!



マインドマップアプリで本人の困る状況を整理することで、状況に合った言葉で伝えられることが増えてきた!

- わからない
 - なにをしたら いいですか
 - わからないので おしえてください
- つかれた
 - つかれたので きゅうけいしても いいですか
 - ねむいので きゅうけいしても いいですか
- むずかしい
 - むずかしいので おしえてください
 - むずかしいので てつだってください
- うるさい
 - そとにでても いいですか
 - イヤマフをしても いいですか



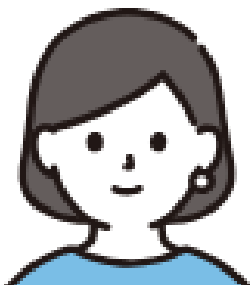
成果

実践事例の中で見られた児童生徒の変化

タブレット端末やアプリの活用ではないけれど・・・



五十音の理解が進み、入力したい文字のボタンを正確に押して再生させることができるようになってきた!



限定された場面であれば、気持ちカード+VOCAで、気持ちを伝えられるようになってきた!
今後、使用できる場面が増えたらいいな。





成果

実践事例の中で見られた児童生徒の変化



「伝わる」経験を増やし、「伝えたい」という気持ちを育てるために、子どもに合わせた「伝える」方法を検討することができた

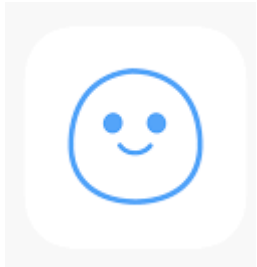


個別最適な学びを検討することができた!



成果

支援情報の記録・共有のためのアプリ活用



日記と一緒に
その日の気分をメモするアプリ

Aさんが自分で書くとなると、
自分の本当の気持ちは
出さないんじゃないかな。



Aさんをよく知っている他学部職員



よく関わる
指導者が記録



※日記は実際のものではありません。



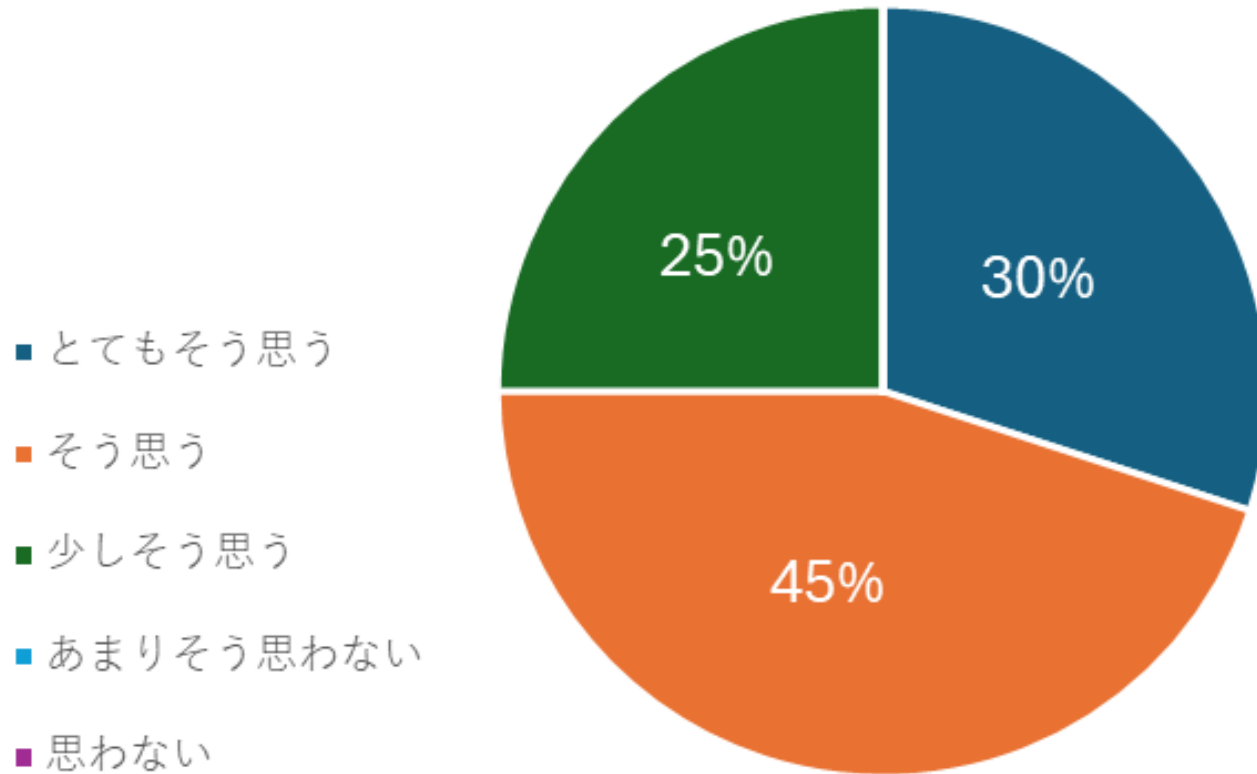
感情の起伏の傾向が見えてきた



成果

コミュニケーション支援に対する意識の変化

Q.研修前と比べて、児童生徒の「伝えたい意図」を意識して関わるようになったか。



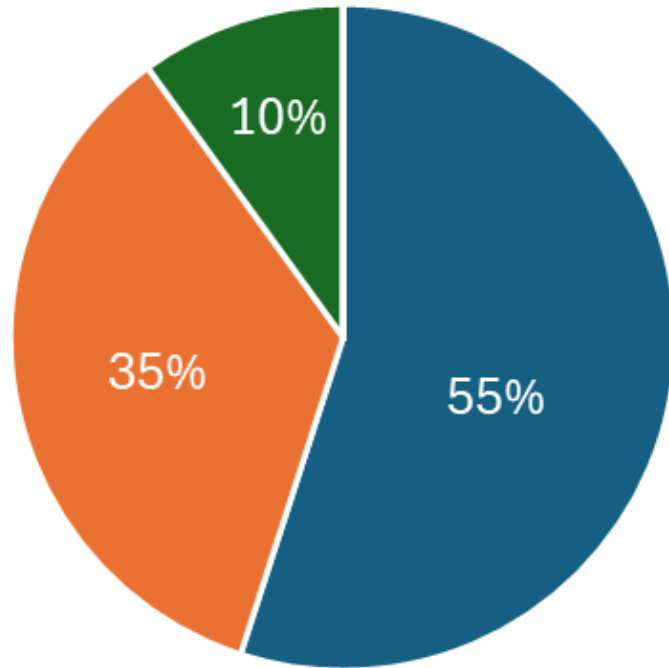
- ・設定した目標を意識して関わるようになった。
- ・児童の気持ちを問うような関わり方に変えると他害が減ったように思う。
- ・生徒の気持ちが分かることで、声かけの仕方や対応を変えることができた。



成果

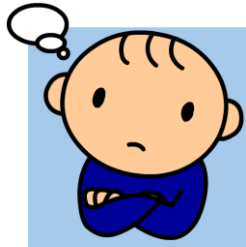
学部をこえた職員の交流

Q.安心して意見を言ったり質問したりできる雰囲気でしたか。



- とても思う
- そう思う
- 少し思う
- あまりそう思わない
- 思わない





課題

事例検討を行い実践する期間が不十分

困り感や関心ごとを整理

実践の紹介
アプリ使ってみよう

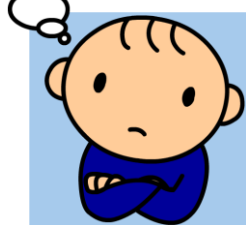
グループワーク
(事例検討)

11/14 12/12 1/13 1/30

実質2か月

アンケートより

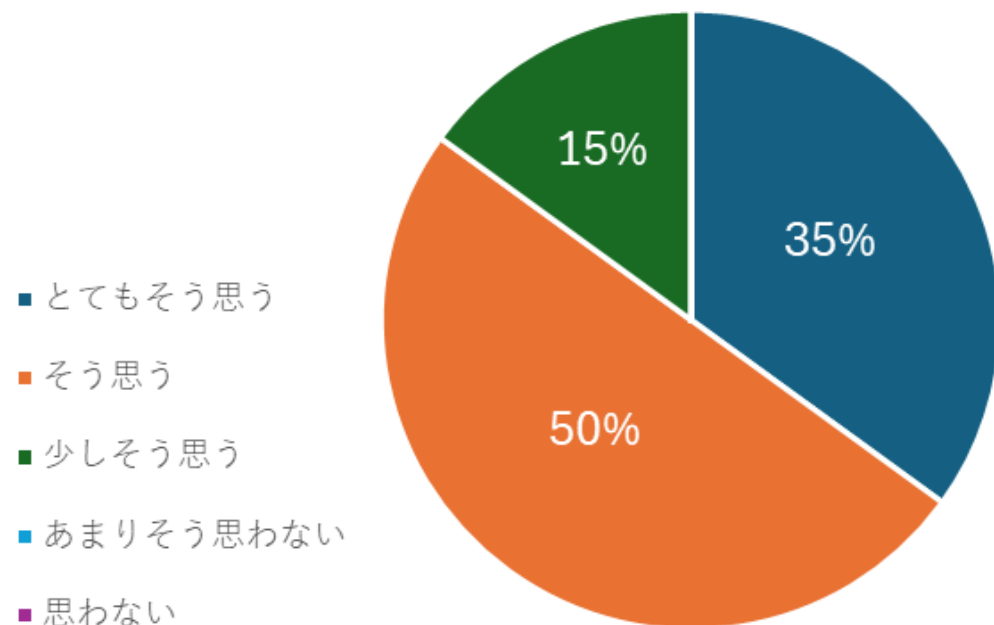
- ・事例検討をするのであれば、もう少し早くからしたかった。
期間が短いと成果を出すのが難しい。
- ・実践の期間がもう少し長かったらよかったと思う。
- ・もう少し期間があれば、学部や学年で情報共有し、現教での取組を指導支援に生かしやすかったのではないか。



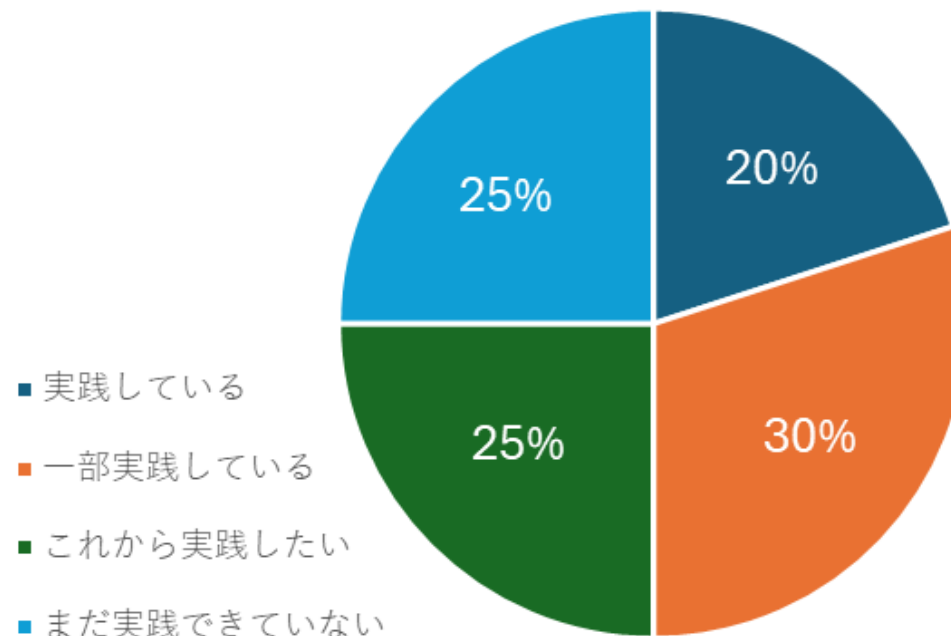
課題

すぐに活用することにつながりにくかった

Q.研修の内容は、日々の実践に役立つものだったか。



Q.研修で取り組んだ内容について、どのくらい実践していますか。



コミュニケーション支援の性質上、取り上げた内容を明日すぐに使ってみようとはなりにくかった。



まとめ

コミュニケーション支援におけるICT活用



表出手段の拡大

- ・音声出力、文字、写真、シンボルなどの多様な方法で伝えられる。



主体性、成功体験の向上

- ・「伝わった」経験が自信や意欲につながる。



個別最適化がしやすい

- ・アプリや設定変更で実態に合わせてやすい。
- ・記録や共有が容易である。



環境調整として機能

- ・視覚的提示や選択肢の提示により理解を支えることができる。



まとめ

コミュニケーション支援におけるICT活用



ICTが目的化しないようにする

- ・「伝えること」が本来の目的。



本人の実態に合った選択が必要

- ・操作や認知面での負担に配慮する。



人的支援との併用が重要

- ・ICTだけではコミュニケーションは成立しない。



過度な依存、機器トラブル、活用できない状況への備え

- ・代替手段（ローテク）も準備。



まとめ

コミュニケーション支援におけるICT活用

コミュニケーション支援において

ICTは「コミュニケーション能力を補う道具」

➡ 適切な活用で
主体的なやり取りを促進できる

